取扱説明書

DuraVision®
FDS1721T

タッチパネル装着カラー液晶モニター

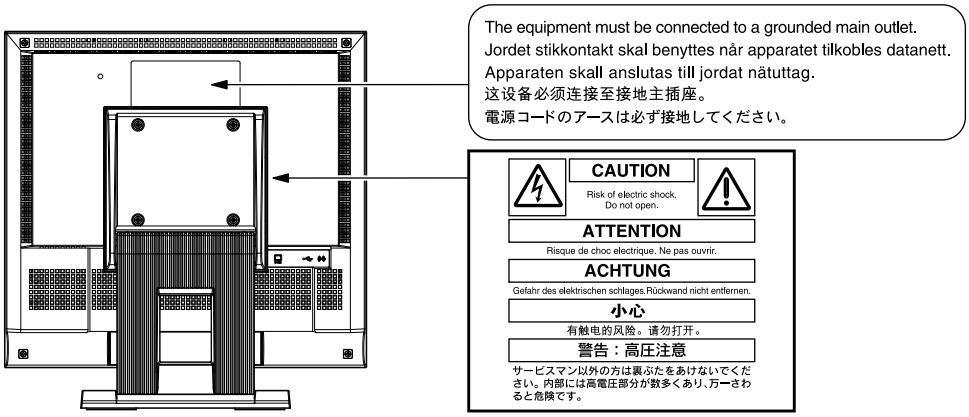
重要

ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書およびセットアップガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

- **コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドを参照してください。**
- **最新の取扱説明書は、当社の Web サイトからダウンロードできます。**
  http://www.eizo.co.jp

EIZO®

警告表示位置



製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1.本書の著作権は EIZO 株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部を EIZO 株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途に適しています。
この製品を筐体組み込みなどで使用する場合は当社コンタクトセンターにお問い合わせください。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約 30 分かかります。モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過するまでお待ちください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は 99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店または EIZO サポートにお問い合わせください。

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

（タッチパネル使用時の注意事項）

- タッチ操作時
  次の点に注意してください。故障の原因となります。
  - パネルを強く押したり、こすったり、突いたりしないでください。
  - ボールペンや金属類などの硬い物でパネルをタッチしないでください。

クリーニングの仕方

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
- パネル面とパネルの外枠との間に、液体が入らないように注意してください。

参考

- キャビネットやパネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせてやさしくふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に約 10 分の休憩を取ってください。

目次

表紙 1

モニターについて 3

クリーニングの仕方 4

モニターを快適にご使用いただくために 4

目次 5

第 1 章　はじめに 6

1-1.　特長 6

1-2.　各部の名称と機能 7

1-3.　EIZO LCDユーティリティディスクについて 8

- ディスクの内容と概要 8
- タッチパネルドライバを使用するときは 8

1-4.　基本操作と機能一覧 9

- 調整メニューの基本操作方法 9
- 機能一覧 10

第 2 章　画面を調整する 11

2-1.　対応解像度 11

2-2.　解像度を設定する 12

2-3.　画面を正しく表示する 13

- デジタル信号入力の場合 13
- アナログ信号入力の場合 13

2-4.　カラー調整をする 17

- 表示モード（カラーモード）を選択する 17
- 詳細な調整をする 17
- 各モードの調整項目 17
- ブライトネス（明るさ）を調整する 18
- コントラストを調整する 18
- 色温度を調整する 19
- ゲインを調整する 19

第 3 章　モニターの設定をする 20

3-1.　音量を調整する 20

3-2.　調整メニューの位置を変更する 20

3-3.　操作ボタンをロックする 20

- 調整メニューでの調整/設定をロックする 20
- すべての操作をロックする 20

3-4.　EIZOロゴを表示/非表示にする 21

3-5.　表示言語を設定する 21

3-6.　DDC/CI通信の有効/無効を設定する 21

3-7.　初期設定に戻す 22

- カラー調整値をリセットする 22
- すべての設定内容をリセットする 22

第 4 章　省電力機能について 23

4-1.　省電力モードについて 23

4-2.　電源ランプの表示を設定する 23

4-3.　モニターの自動明るさ調整の設定をする 24

4-4.　省電力の度合いを表示する 24

4-5.　モニターの自動電源切断機能の設定をする 24

第 5 章　こんなときは 25

5-1.　画面が表示されない場合 25

5-2.　画面に関する症状（デジタル、アナログ共通） 26

5-3.　画面に関する症状（アナログのみ） 26

5-4.　タッチパネルに関する症状 27

5-5.　その他の症状 27

第 6 章　ご参考に 28

6-1.　オプションアーム取付方法 28

6-2.　複数のコンピュータを接続する 29

- 入力信号を切り替える 29
- 入力信号の切替方法を設定する 30

6-3.　モニター情報を表示する 30

6-4.　仕様 31

6-5.　プリセットタイミング 33

第 7 章　用語集 34

付録 36

商標 36

VCCI 37

その他規格 37

中国RoHS 38

アフターサービス 39

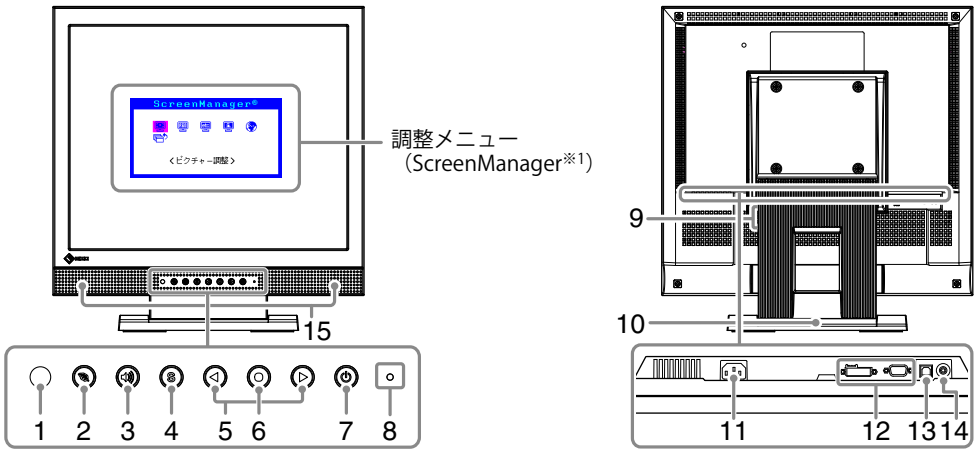
第 1 章　はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 17型画面
- 解像度1280 × 1024 対応
- LEDバックライト液晶パネル搭載
  従来の蛍光管バックライト液晶パネルと比較して電力効率が高く、消費電力が抑えられます。また、有害物質である水銀を含有していません。
- タッチパネル標準装備
  - 超音波表面弾性波方式を採用
    耐久性と透過率の高いタッチパネルです。また、タッチ位置のずれが少なく、手袋をはめたままでも操作が可能です。
- ステレオスピーカー搭載
- 省電力機能
  消費電力を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。この製品は省電力のための機能を搭載しています。
  - Auto EcoView（オートエコビュー）機能
    モニター正面の外光センサーが周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。不必要に明るくすると、消費電力の増加により環境に悪影響を及ぼし、目にも負荷を与えます。Auto EcoViewを使用して輝度を下げることができます。
    「4-3. モニターの自動明るさ調整の設定をする」（P.24）参照
  - EcoView Index（エコビューインデックス）機能
    モニターの輝度に応じた省電力の度合いと、電力削減量、CO_2削減量を表示します。省電力の度合いを意識することで、消費電力の削減につながります。
    「4-4. 省電力の度合いを表示する」（P.24）参照

1-2. 各部の名称と機能



1. センサー	周囲の明るさを検知します。Auto EcoView（オートエコビュー）機能（P.24）
2. EcoViewボタン	Auto EcoViewの設定画面およびEcoView Index（エコビューインデックス）を表示します。
3. 音量調整ボタン	音量設定画面（P.20）を表示します。
4. 入力切替ボタン	表示する入力信号を切り替えます。
5. コントロールボタン（左、右）	• 明るさの調整画面（P.18）を表示します。 • 調整メニューを使って詳細な調整をする場合に（P.9）、調整項目を選択したり、調整値を増減します。
6. エンターボタン	調整メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します（P.9）。
7. 電源ボタン	電源のオン/オフを切り替えます。
8. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 青：　画面表示 橙：　省電力モード 消灯：　電源オフ
9. 盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
10. スタンド	角度が調整できます。
11. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
12. 信号入力コネクタ	左：DVI-Dコネクタ／右：D-Sub15ピン（ミニ）コネクタ
13. USBポート（UP）	コンピュータとモニターをUSBケーブルで接続します。
14. ステレオミニジャック	ステレオミニジャックケーブルを接続します。
15. スピーカー	音声を再生します。

※1 ScreenManagerは当社調整メニューのニックネームです。使用方法は、「1-4. 基本操作と機能一覧」（P.9）を参照してください。

1-3. EIZO LCDユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCDユーティリティディスク」（CD-ROM）が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は次のとおりです。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、タッチパネル用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内のReadmeja.txtを参照してください。

項目	概要	Windows	Macintosh
Readmeja.txtファイル		○	○
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。	○	○
タッチパネルドライバ	タッチパネルモニターをWindowsで動作させるために必要なドライバです。	○	-
モニターの取扱説明書（PDFファイル）		○	○
タッチパネルドライバのインストールガイド（PDFファイル）		○	-

● タッチパネルドライバを使用するときは

タッチパネルドライバの動作条件やインストール方法、使用方法については、ディスク内のインストールガイドを参照してください。

最新のソフトウェアおよびインストールガイドは、当社のWebサイトからダウンロードできます。

http://www.eizo.co.jp

1-4. 基本操作と機能一覧

● 調整メニューの基本操作方法

1. 調整メニューの表示

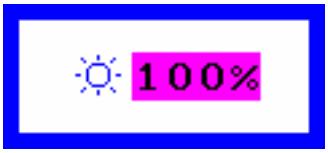
1. ◉ を押し、調整メニューを表示します。

デジタル信号入力時

2. 調整/設定

1. ◀ または ▶ で、調整/ 設定したいメニューを選択し、◉ を押します。サブメニューが表示されます。

2. ◀ または ▶ で、調整/ 設定したい項目を選択し、◉ を押します。調整/設定メニューが表示されます。



3. ◀ または ▶ で、調整/ 設定し、◉ を押して確定します。

3. 終了

1. サブメニューで<リターン>を選択し、◉ を押します。メインメニューが表示されます。
2. メインメニューで<メニューオフ>を選択し、◉ を押します。調整メニューが終了します。

参考

• ◉ をすばやく続けて2回押しても調整メニューを終了させることができます。

● 機能一覧

調整メニューの調整および設定項目一覧表です。

メインメニュー	項目	参照先
自動調整※1	ピクチャー調整	「2-3. 画面を正しく表示する」（P.13）
	レンジ調整	
ピクチャー調整	クロック※1	
	フェーズ※1	
	水平ポジション※1	
	垂直ポジション※1	
	スムージング	
カラー※2	ブライトネス	「2-4. カラー調整をする」（P.17）
	カラーモード	
	コントラスト	
	K色温度	
	ゲイン	
	リセット	「カラー調整値をリセットする」（P.22）
その他	入力信号	「入力信号の切替方法を設定する」（P.30）
	Ecoタイマー	「4-5. モニターの自動電源切断機能の設定をする」（P.24）
	メニューポジション	「3-2. 調整メニューの位置を変更する」（P.20）
	電源ランプ	「4-2. 電源ランプの表示を設定する」（P.23）
	リセット	「すべての設定内容をリセットする」（P.22）
インフォメーション		「6-3. モニター情報を表示する」（P.30）
言語選択		「3-5. 表示言語を設定する」（P.21）

※1 アナログ信号入力の場合のみ。

※2 ＜カラー＞で調整/設定できる機能はモードにより異なります（「各モードの調整項目」（P.17）参照）。

第 2 章　画面を調整する

2-1. 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

アナログ信号（D-Sub）入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640×480	VGA, VESA	～75Hz	135MHz（Max.）
720×400	VGA TEXT	70Hz	
800×600	VESA	～75Hz	
1024×768	VESA	～75Hz	
1152×864	VESA	75Hz	
1280×960	VESA	60Hz	
1280×1024※1	VESA	～75Hz	

デジタル信号（DVI-D）入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640×480	VGA	60Hz	108MHz（Max.）
720×400	VGA TEXT	70Hz	
800×600	VESA	60Hz	
1024×768	VESA	60Hz	
1280×1024※1	VESA	60Hz	

※1 推奨解像度です。

2-2. 解像度を設定する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

Windows 7 の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
3. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
4. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

Windows Vista の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

Windows XP の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、「OK」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

Windows 2000 の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の領域」で解像度を選択します。
4. 選択したら、「OK」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

Mac OS X の場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

2-3. 画面を正しく表示する

● デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、この製品の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、文字や線がぼやけている場合は、「6. 文字や線のぼやけを直します。」（P.16）にお進みください。
さらに詳細な調整をおこなう場合は「2-4. カラー調整をする」（P.17）以降を参照してください。

● アナログ信号入力の場合

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- 垂直解像度が480以下の信号ではセルフアジャスト機能は働きません。
- セルフアジャスト機能/自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
  - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
  - 壁紙など背景を黒で使用している場合

  また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

参考

- 次の場合にセルフアジャスト機能が働きます。
  - モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、次の設定手順に従って画面の調整をしてください。

設定手順

1. 自動調整をします。

● 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

設定方法

1. 調整メニューの＜自動調整＞を選択し、◉を押します。
2. ＜自動調整＞で＜ピクチャー調整＞を選択し、◉を押します。
   ＜自動調整＞が表示されます。
3. ◀または▶で「実行」を選択して、◉を押します。
   自動調整機能が働き、画面のちらつき、表示位置、サイズが正しく設定されます。

自動調整を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。
正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」（P.16）にお進みください。

2. アナログ画面調整用のパターンを準備します。

「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、「画面調整パターン集」を開きます。

参考

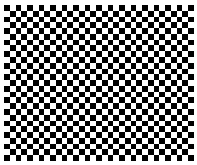
- 「画面調整パターン集」の開き方および内容については、Readmeja.txtファイルを参照してください。

3. アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

● 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン1を画面全体に表示します。



2. 調整メニューの＜自動調整＞を選択し、◉を押します。
3. ＜自動調整＞で＜ピクチャー調整＞を選択し、◉を押します。
   ＜自動調整＞が表示されます。
4. ◀または▶で「実行」を選択して、◉を押します。
   自動調整機能が働き、画面のちらつき、表示位置、サイズが正しく設定されます。

自動調整を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。
正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」（P.16）にお進みください。

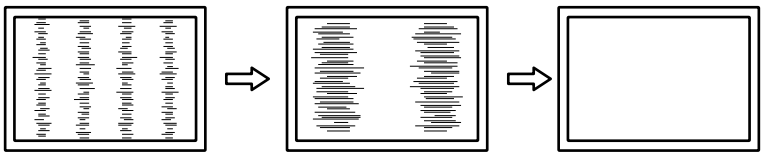
4. 調整メニューの＜ピクチャー調整＞で詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

● 縦縞を消す

設定方法

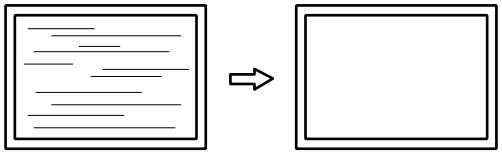
1. ＜ピクチャー調整＞で＜クロック＞を選択し、◉を押します。
   ＜クロック＞が表示されます。
2. ◀または▶で縦縞が消えるように設定します。
   設定が合ったポイントを見逃しやすいので◀▶をゆっくり押して設定するようにしてください。
3. 設定が完了したら◉を押します。
   設定後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる」に進み設定をおこなってください。



ちらつきやにじみをとる

設定方法

1. ＜ピクチャー調整＞で＜フェーズ＞を選択し、◉を押します。
   ＜フェーズ＞が表示されます。
2. ◀または▶で最もちらつきやにじみのない画面に設定します。
3. 設定が完了したら◉を押します。
   設定後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す」に戻り、再度設定をおこなってください。
   （クロック→フェーズ→ポジション）



注意点

• お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

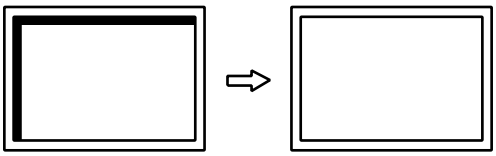
表示位置のずれを直す

参考

• 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定方法

1. ＜ピクチャー調整＞で＜水平ポジション＞または＜垂直ポジション＞を選択し、◉を押します。
   ＜水平ポジション＞または＜垂直ポジション＞が表示されます。
2. 画像の位置が合うように◀または▶で設定します。
3. 設定が完了したら◉を押します。



4. パターン1を閉じます。

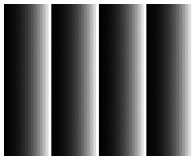
5. 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0 ～ 255）を表示できるように調整できます。

設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン2を画面全体に表示します。



2. 調整メニューの＜自動調整＞を選択し、 ⊙ を押します。
3. ＜自動調整＞で＜レンジ調整＞を選択し、 ⊙ を押します。
   ＜レンジ調整＞が表示されます。
4. ◁ または ▷ で「実行」を選択して、 ⊙ を押します。
   出力レンジが自動的に設定されます。
5. パターン2を閉じます。

6. 文字や線のぼやけを直します。

● 文字や線のぼやけを直す

推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

注意点

・表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません。（スムージングアイコンを選択することはできません。）

設定範囲

1～5

設定方法

1. 調整メニューの＜ピクチャー調整＞を選択し、 ⊙ を押します。
2. ＜ピクチャー調整＞で＜スムージング＞を選択し、 ⊙ を押します。
   ＜スムージング＞が表示されます。
3. ◁ または ▷ で設定します。
4. 設定が完了したら ⊙ を押します。

2-4. カラー調整をする

● 表示モード（カラーモード）を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

モード	目的
Custom	好みに応じた設定をおこなう際に選択します。
EyeCare	他のモードに比べて、画面の明るさを低く設定することができます。
sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
Text	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞を選択し、◉を押します。
2. ＜カラー＞で＜カラーモード＞を選択し、◉を押します。
3. ◀または▶で設定します。
4. 設定が完了したら◉を押します。

● 詳細な調整をする

調整メニューの＜カラー＞で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください（「色階調を自動調整する」（P.16）参照）。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。（調整/設定できない機能は選択できません。）

○：調整可　—：調整不可

アイコン	機能名	カラーモード			
		Custom	EyeCare	sRGB	Text
	ブライトネス	○	○	○	○
	コントラスト	○	—	—	○
K	色温度	○	○	—	○
	ゲイン	○	○	—	—
	リセット	○	○	○	○

● ブライトネス（明るさ）を調整する

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100%

設定方法

1. ◀ または ▶ を押します。
   ブライトネスメニューが表示されます。
2. ◀ または ▶ で設定します。
3. 設定が完了したら ◉ を押します。

参考

- ブライトネスが0%でも画面が明るいと感じた場合、または100%でも暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。
- 調整メニューの＜カラー＞-＜ブライトネス＞で調整することもできます。

● コントラストを調整する

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100%

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞を選択し、◉ を押します。
2. ＜カラー＞で＜コントラスト＞を選択し、◉ を押します。
   ＜コントラスト＞が表示されます。
3. ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ◉ を押します。

参考

- 50%ですべての色階調を表示します。
- 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。
- コントラスト調整は次のような場合に使用してください。
  - ブライトネスが100% でも画面が暗いと感じたとき。（コントラストを50% 以上に設定します。）
  - ブライトネスが0% でも画面が明るいと感じたとき。（コントラストを50% 以下に設定します。）

● 色温度を調整する

色温度を調整します。
通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin （ケルビン） という単位で表します。
炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

オフ、5000K、6500K、9300K

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞を選択し、 ⦿ を押します。
2. ＜カラー＞で＜色温度＞を選択し、 ⦿ を押します。
   ＜色温度＞が表示されます。
3. ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ⦿ を押します。

参考

- ＜ゲイン＞でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する」（P.19）参照）。
- 「オフ」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100%）になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

● ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0～100%

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞を選択し、 ⦿ を押します。
2. ＜カラー＞で＜ゲイン＞を選択し、 ⦿ を押します。
   ＜ゲイン＞が表示されます。
3. 赤、緑、青それぞれの値を ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ⦿ を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

第 3 章　モニターの設定をする

3-1. 音量を調整する

スピーカーの音量を調整することができます。

設定範囲

0～20

設定方法

1. ◀)) を押します。
   音量メニューが表示されます。
2. ◀ または ▶ で設定します。
3. 設定が完了したら ◉ を押します。

3-2. 調整メニューの位置を変更する

調整メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

1. 調整メニューの<その他>を選択し、◉ を押します。
2. <その他>で<メニューポジション>を選択し、◉ を押します。
   <メニューポジション>が表示されます。
3. ◀ または ▶ で位置を移動します。
4. 設定が完了したら ◉ を押します。

3-3. 操作ボタンをロックする

調整/設定した状態を変更できないようにします。

● 調整メニューでの調整/設定をロックする

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. Ⓢ を押しながら ⏻ を押してモニターの電源を入れます。
   手順1、2を繰り返すとロック/ ロック解除が切り替わります。

● すべての操作をロックする

設定方法

1. 画面表示中に ⊘ を押しながら ⏻ を5秒間押します。
   この操作を繰り返すとロック/ロック解除が切り替わります。

3-4. EIZOロゴを表示/非表示にする

この製品の電源を入れたときに、EIZOロゴが表示されます。このロゴの表示/非表示の切り替えができます。

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. ● を押しながら ⏻ を押してモニターの電源を入れます。
   手順1、2を繰り返すと表示/ 非表示が切り替わります。

3-5. 表示言語を設定する

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語/ドイツ語/フランス語/スペイン語/イタリア語/スウェーデン語/中国語（簡体）/中国語（繁体）/日本語

設定方法

1. 調整メニューの＜言語選択＞を選択し、● を押します。
   ＜言語選択＞が表示されます。
2. ◀ または ▶ で言語を選択します。
3. 設定が完了したら ● を押します。

3-6. DDC/CI通信の有効/無効を設定する

DDC/CI 通信の有効/無効を切り替えます（「第 7 章 用語集」（P.34）参照）。

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. 🔊 を押しながら ⏻ を押してモニターの電源を入れます。
   手順1、2を繰り返すと有効/無効が切り替わります。

参考

・DDC/CIの有効/無効の状態は、＜インフォメーション＞で確認することができます。

3-7. 初期設定に戻す

設定値を初期設定にリセットします。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「主な初期設定値」（P.32）を参照してください。

● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞を選択し、◉を押します。
2. ＜カラー＞で＜リセット＞を選択し、◉を押します。
3. ◀または▶で「リセット」を選択します。
4. ◉を押します。
   カラー調整値が初期設定になります。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期設定に戻します。

設定方法

1. 調整メニューの＜その他＞を選択し、◉を押します。
2. ＜その他＞で＜リセット＞を選択し、◉を押します。
3. ◀または▶で「リセット」を選択します。
4. ◉を押します。
   すべての設定内容が初期設定になります。

第 4 章　省電力機能について

4-1. 省電力モードについて

省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- 電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。

省電力の流れ

アナログ信号入力の場合

「VESA DPM」に準拠しています。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙

デジタル信号入力の場合

「DVI DMPM」に準拠しています。
コンピュータの設定に連動し5秒後に省電力モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

4-2. 電源ランプの表示を設定する

画面表示時の電源ランプ（青）の点灯/ 消灯の切り替えができます。

設定方法

1. 調整メニューの＜その他＞を選択し、◉を押します。
2. ＜その他＞で＜電源ランプ＞を選択し、◉を押します。
   ＜電源ランプ＞が表示されます。
3. ◀または▶で「有効」または「無効」を選択します。
4. 設定が完了したら◉を押します。

4-3. モニターの自動明るさ調整の設定をする

Auto EcoView（オートエコビュー）を使用するとモニター下部の外光センサーが周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。

注意点

・Auto EcoView機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。

設定方法

1. ⊛ を押します。
   EcoViewメニューが表示されます。
2. ◀ または ▶ で「オン」または「オフ」を選択します。
3. 設定が完了したら ◉ を押します。

参考

・Auto EcoViewの自動調整の範囲は、調整メニューの＜ブライトネス＞を調整すると、連動して変更されます。

4-4. 省電力の度合いを表示する

EcoViewメニューで電力削減量、CO_2削減量、省エネレベルを確認できます。インジケータが右方向に点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。

表示方法

1. ⊛ を押します。
   EcoViewメニューが表示されます。

参考

・電力削減量：ブライトネスの調整値に応じた、バックライト消費電力の低減量です。
・CO_2削減量：電力削減量から換算した、モニターを1時間使用した場合に削減できるCO_2排出量の目安です。
※ 数値は「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令（平成１８年経済産業省・環境省令第３号）に定めるデフォルト値（0.000555t-CO2/kWh）」を元に算出しており、国、年度などによって変わる可能性があります。

4-5. モニターの自動電源切断機能の設定をする

モニターの省電力モードが一定時間続いたときに、モニターの電源を自動的に切る/切らないの切り替えができます。

設定範囲

無効、 有効 （0、 1、 2、 3、 5、 10、 15、 20、 25、 30、 45min、 1 ～ 5h）

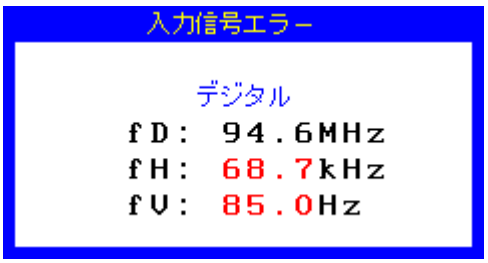
設定方法

1. 調整メニューの＜その他＞を選択し、 ◉ を押します。
2. ＜その他＞で＜Ecoタイマー＞を選択し、 ◉ を押します。
   ＜Ecoタイマー＞ が表示されます。
3. ◀ または ▶ で「有効」または「無効」を選択します。
   「有効」を選択した場合は、 ◀ または ▶ でモニターの電源が切れるまでの時間を選択します。
4. 設定が完了したら ◉ を押します。

第 5 章　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはEIZOサポートにご相談ください。

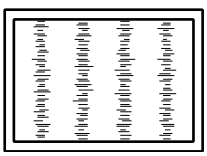
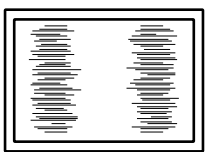
5-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない	・電源コードは正しく接続されていますか。 ・⏻を押してください。
・電源ランプが点灯：青色	・調整メニューの<ブライトネス>、<コントラスト>、<ゲイン>の各調整値を上げてみてください（「詳細な調整をする」（P.17）参照）。
・電源ランプが点灯：橙色	・Ⓢで入力信号を切り替えてみてください。 ・マウス、キーボードを操作してみてください。 ・パネル面にタッチしてみてください。 ・コンピュータの電源は入っていますか。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
・信号が入力されていない場合の表示です。 例： 	・コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 ・コンピュータの電源は入っていますか。 ・信号ケーブルは正しく接続されていますか。 ・Ⓢで入力信号を切り替えてみてください。
・入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（範囲外の周波数は赤色で表示されます。） 例：  fD：ドットクロック（デジタル信号入力時のみ表示されます） fH：水平走査周波数 fV：垂直走査周波数	・コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2-1. 対応解像度」（P.11）参照）。 ・コンピュータを再起動してみてください。 ・グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください

5-2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通）

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	• 調整メニューの<ブライトネス>、<コントラスト>を調整してください。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。） • Auto EcoView（オートエコビュー）をオンにしてみてください。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
2. 文字がぼやけて見える	• コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2-1. 対応解像度」（P.11）参照）。 • 推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。調整メニューの「スムージング」で調整してみてください（「文字や線のぼやけを直す」（P.16）参照）。
3. 残像が現れる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 • 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押した跡が消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
6. 画面が白っぽい、黒っぽい	• 調整メニューの<コントラスト>で調整してみてください（「コントラストを調整する」（P.18）参照）。

5-3. 画面に関する症状（アナログのみ）

症状	原因と対処方法
1. 画像がずれている 	• 調整メニューの<ポジション>で画像の位置を合わせてください（「表示位置のずれを直す」（P.15）参照）。 • グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
2. 画面に縦線が出ている/画面の一部がちらついている  	• 調整メニューの<クロック>で調整してみてください（「縦縞を消す」（P.14）参照）。
3. 画面全体がちらつく、にじむように見える 	• 調整メニューの<フェーズ>で調整してみてください（「ちらつきやにじみをとる」（P.15）参照）。

5-4. タッチパネルに関する症状

注意点

- タッチパネルドライバのインストール方法、使用方法などの詳細は、タッチパネルドライバのインストールガイド（CD-ROM内）を参照してください。

症状	原因と対処方法
1. カーソル位置がずれる/カーソルが飛ぶ	• モニターの電源を入れなおしてみてください。それでも症状が改善されない場合は、キャリブレーションをおこなってください。 • 1本の指でタッチするようにしてください。
2. タッチ音が鳴らない	• コンピュータのハードウェア構成によっては、コンピュータの音声出力端子からタッチ音を出力しない場合があります。 • Windows 7で使用する場合は、コンピュータの音声出力端子からのみ音が出力されます。タッチ音を鳴らす場合はスピーカーを接続してください。

5-5. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 調整メニューが表示できない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-3. 操作ボタンをロックする」（P.20）参照）。
2. すべての操作ボタンが効かない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-3. 操作ボタンをロックする」（P.20）参照）。
3. 自動調整機能が動作しない	• 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 • この機能はWindows など表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 • 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
4. 音声が出ない	• ステレオミニジャックケーブルは正しく接続されていますか。 • 音量が「0」になっていませんか。 • コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。

第 6 章　ご参考に

6-1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。
  - 取付部のネジ穴間隔：100mm×100mm
  - プレート部の厚み：2.6mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合、取り付けには次のねじをご使用ください。
  - この製品に付属しているねじ（M4×12mm）
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
  - 上：60°、下：45°
- モニターを縦方向に回転させないでください。
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。

取付方法

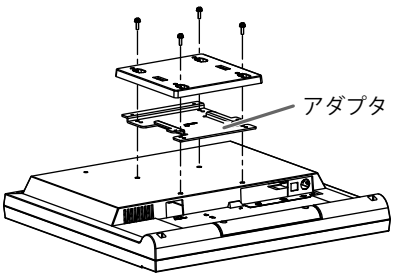
1. パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ4箇所を取り外します。

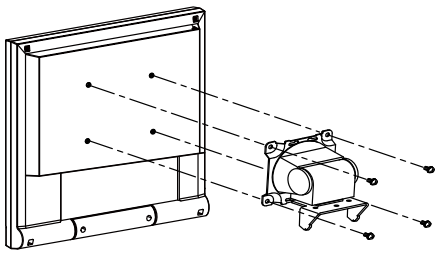
3. アダプタを取り外します。

ドライバを使って、本体部分とアダプタを固定しているねじ4箇所を取り外します。



4. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のねじを使って取り付けます。



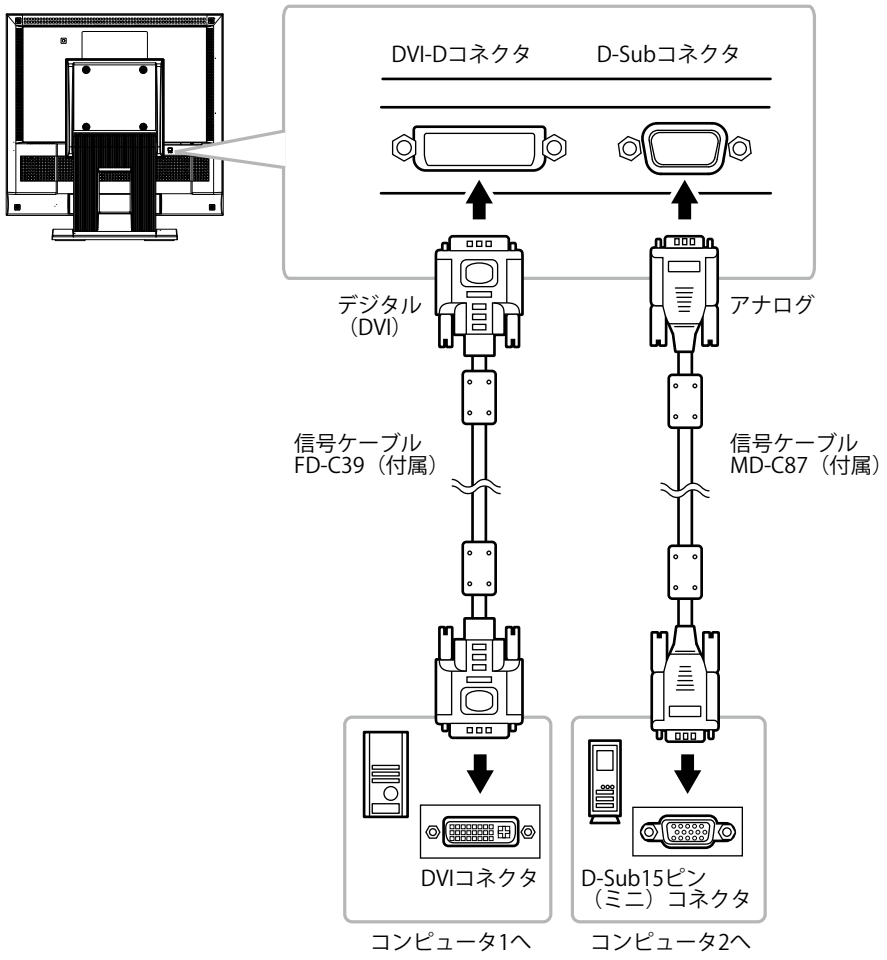
6-2. 複数のコンピュータを接続する

この製品は、複数のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

注意点

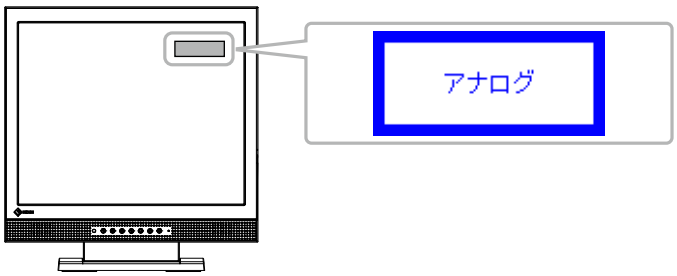
- Dual Link ケーブルは使用しないでください。
- タッチパネルモニターは、１台のコンピュータでの使用を前提としています。複数のコンピュータと接続する場合は、USB ケーブル（MD-C93）をタッチ操作するコンピュータ（１台のみ）に接続してください。

接続例



● 入力信号を切り替える

Ⓢ を押すたびに入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。
なお、信号を切り替えたときには、現在表示されている信号の種類（アナログまたはデジタル）が画面右上に3秒間表示されます。



● 入力信号の切替方法を設定する

設定	機能
オート	コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に他の信号を表示します。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。操作ボタンの Ⓢ で表示させたい入力信号を選択してください。

設定方法

1. 調整メニューの< その他 >を選択し、 ⊙ を押します。
2. <その他 >で<入力信号>を選択し、 ⊙ を押します。
   <入力信号> が表示されます。
3. ◀ または ▶ で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら ⊙ を押します。

参考

- 「オート」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

6-3. モニター情報を表示する

入力信号、解像度、製品名などを表示します。

インフォメーション1/3：入力信号、解像度、水平/垂直走査周波数
インフォメーション2/3：DDC/CI有効/無効
インフォメーション3/3：製品名、製造番号、使用時間

設定方法

1. 調整メニューの<インフォメーション>を選択し、 ⊙ を押します。
   <インフォメーション>が表示されます。
2. 続けて ⊙ を押して、設定状況などを確認します。

注意点

- 工場での検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

6-4. 仕様

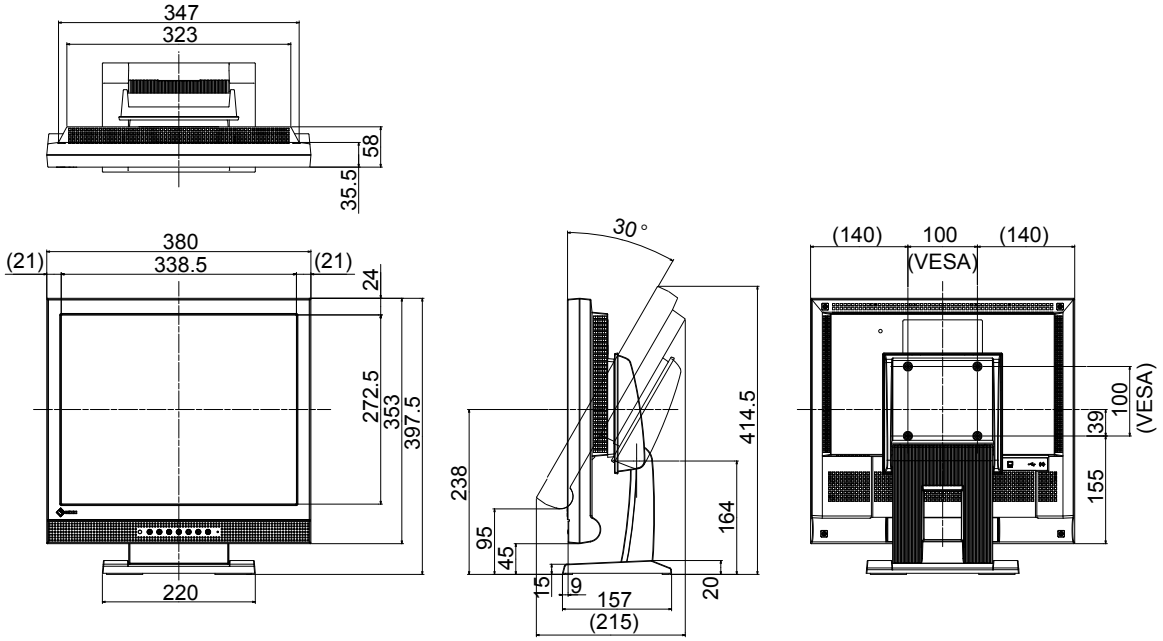
液晶パネル	サイズ	43cm（17.0）型
	種類	カラーTFT、LEDバックライト
	視野角	左右160°、上下170°（CR≧10）
	ドットピッチ	0.264mm
	応答速度	黒→白→黒：約5ms
タッチパネル	表面処理	グレア
	表面硬度	7Mohs
	通信手段	USB転送
	検出方式	超音波表面弾性波方式
	対応OS	Microsoft Windows 7（32ビット版/64ビット版） Microsoft Windows Vista Service Pack 2（32ビット版） Microsoft Windows XP Service Pack 3（32ビット版） Microsoft Windows 2000 Service Pack 4（32ビット版） （Mac OSには対応していません。）
水平走査周波数	アナログ	31kHz～80kHz
	デジタル	31kHz～64kHz
垂直走査周波数	アナログ	50Hz～75Hz（ノンインターレース）
	デジタル	59Hz～61Hz（ノンインターレース） （VGA TEXT時：69Hz～71Hz）
解像度		1280ドット×1024ライン
ドットクロック（最大）	アナログ	135MHz
	デジタル	108MHz
最大表示色		約1677万色
表示サイズ（水平×垂直）		337.9mm×270.3mm
電源		AC100V±10%、50/60Hz、0.55A
消費電力	画面表示時	29W以下
	省電力モード時	2.6W以下　（D-Sub 1系統入力時、ステレオミニジャックケーブル非接続時）
	電源オフ時	0.6W以下
信号入力コネクタ		D-Sub15ピン（ミニ）
		DVI-Dコネクタ
アナログ信号　入力同期信号		セパレート、TTL、正/負極性
アナログ信号　入力映像信号		アナログ、正極性（0.7Vp-p/75Ω）
デジタル信号　伝送方式		TMDS（Single Link）
音声出力		スピーカー出力：0.5W+0.5W（8Ω、THD+N≦10%）
ライン入力		入力インピーダンス：39kΩ（typ.） 入力レベル：2.0Vrms（最大）
プラグ&プレイ機能		VESA DDC 2B/EDID structure 1.3
寸法（幅）×（高さ）×（奥行き）	本体	380mm×397.5mm×157mm
	本体（スタンドなし）	380mm×353mm×58mm
質量	本体	約7.5kg
	本体（スタンドなし）	約4.8kg
可動範囲		チルト角度：上30° 下0°
環境条件	温度	動作温度範囲：　0℃～35℃ 輸送および保存温度範囲：　-20℃～60℃
	湿度	動作湿度範囲：　20% ～ 80% R.H.（非結露状態） 輸送および保存湿度範囲：　10% ～ 80% R.H.（非結露状態）
	気圧	動作気圧範囲：　540hPa ～ 1060hPa 輸送および保存気圧範囲：　200hPa ～ 1060hPa

主な初期設定値

Auto EcoView（オートエコビュー）	オン
スムージング	3
カラーモード	Custom
入力信号	オート
Ecoタイマー	無効
言語選択	日本語

外観寸法

単位：mm



6-5. プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているアナログ信号のタイミングは次のとおりです。

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

解像度	対応信号	周波数		
		ドットクロック：MHz	水平：kHz	垂直：Hz
640 × 480	VGA	25.18	31.47	59.94
640 × 480	VESA	31.50	37.86	72.81
640 × 480	VESA	31.50	37.50	75.00
720 × 400	VGA TEXT	28.32	31.47	70.09
800 × 600	VESA	36.00	35.16	56.25
800 × 600	VESA	40.00	37.88	60.32
800 × 600	VESA	50.00	48.08	72.19
800 × 600	VESA	49.50	46.88	75.00
1024 × 768	VESA	65.00	48.36	60.00
1024 × 768	VESA	75.00	56.48	70.07
1024 × 768	VESA	78.75	60.02	75.03
1152 × 864	VESA	108.00	67.50	75.00
1280 × 960	VESA	108.00	60.00	60.00
1280 × 1024	VESA	108.00	63.98	60.02
1280 × 1024	VESA	135.00	79.98	75.03

第 7 章　用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：昼光色と呼ばれる白色
9300K：やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横1280個、縦1024個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1280 × 1024の解像度であれば、画像は画面全体（1対1）に表示されます。

クロック

アナログ信号入力方式のモニターにおいて、アナログ信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをお勧めします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをお勧めします。

DDC/CI（Display Data Channel / Command Interface）

VESAによって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための国際規格です。

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。
伝送方式にTMDS、コネクタにDVIコネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応のDVI-Dコネクタと、デジタル/アナログ信号入力可能なDVI-Iコネクタがあります。

DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

sRGB（Standard RGB）

周辺機器間（モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPM（Video Electronics Standards Association - Display Power Management）

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPM はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
Acrobat、Adobe、Adobe AIR、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ　システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。
AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。
Apple、ColorSync、eMac、iBook、iMac、iPad、Mac、MacBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、QuickTimeはApple Inc.の登録商標です。
ColorMunki、Eye-One、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。
Spyder3、Spyder4はDataColor Holding AGの商標です。
ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。
GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。
Japan Color、ジャパンカラーは一般社団法人日本印刷産業機械工業会および一般社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。
JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。
NECは日本電気株式会社の登録商標です。
PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。
NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。
Intel、Intel Core、Pentium、Thunderboltは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。
PlayStation、PS3、PSP、プレイステーションは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。
TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。
Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。
FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。
Kensington、MicroSaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。
EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO ScreenSlicer、i・Sound、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。
C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。
その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

中国RoHS

关于电子信息产品污染控制标识

本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅（Pb）	汞（Hg）	镉（Cd）	六价铬（Cr（VI））	多溴联苯（PBB）	多溴二苯醚（PBDE）
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	○	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
（企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、EIZOサポートにお問い合わせください。EIZOサポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- この製品の保証書はセットアップガイド（裏面）にあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、EIZOサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定に従い、EIZOサポートにて修理または交換をさせていただきます。お買い上げの販売店、またはEIZOサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い上げの販売店、またはEIZOサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号/FAX番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号
  （製造番号は、本体の背面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。
  例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ/グラフィックスボード/OS、システムのバージョン/表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。
当社製品は、業界団体「パソコン3R推進協会」が回収させていただきます。
回収を希望されるお客様は当社のWebサイトよりお申し込みください。
（http://www.eizo.co.jp）

※ この製品は業務用途を意図した製品ですので、ご使用後廃棄される場合は有償となります。

初版　2014 年 1 月
03V24858A2
(U.M-FDS1721T)

Copyright © 2014 EIZO株式会社 All rights reserved.